

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

市公式ウェブサイトの全面リニューアルによる分かりやすい情報の発信

現状等

市公式ウェブサイトは平成19年度にコンテンツ・マネジメント・システム「ALAYA」で構築後、利用者の利便性の向上を目的に平成26年度にリニューアルを実施し、現在に至っています。
令和3年度時点での利用状況等は次のとおりです。
管理ページ数：約26,000ページ、アカウント数：211、
閲覧総数：年間約1,700万ビュー(平成29～令和元年度平均)
訪問者数：年間約1,250万人(平成28～令和元年度平均)
また、令和3年度の市民意識調査で「欲しい市政情報が十分に手に入れない理由」を聞いたところ、次の①～③のような評価となりました。
①市公式ウェブサイトが見づらい：21%、 ②市公式ウェブサイトに欲しい情報が載っていない：18%
③市公式ウェブサイトの情報が古い：6% ①+②+③=45%

取組概要
(前期計画)

令和5年度にリニューアル作業を行い令和6年度から新ウェブサイト稼働します。
＜リニューアルの方針＞
誰もが欲しい情報が掲載されたページに簡単にたどり着くことができるウェブサイト
(カテゴリーの見直し、やさしい日本語の適用など)
令和5年度 全面リニューアル、公式ウェブサイトの再構築
令和6年度 新システム稼働、新公式ウェブサイトの公開、管理保守開始
令和12年度 公式ウェブサイトリニューアルの検討

取組内容
(計画・実績)

年度

R5

R6

R7

R8

R9～12の取組

計画

◎システム選定
◎再構築

◎システム稼働、公開
◎管理保守

→

→

管理保守
リニューアルの検討

実績

◎システム選定
◎再構築
◎システム稼働、公開

◎管理保守

凡 例

△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止

進 捗

②

凡例

①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし

効果

利用者の利便性が向上します。
・利用者が、欲しい情報が掲載されたホームページに簡単にたどり着くことができます。
・操作者(職員)が、簡単にホームページを作成することができます。

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-1
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		市公式ウェブサイトの全面リニューアルによる分かりやすい情報の発信					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	・プロポーザルを実施した上で業者（システム）選定しました。 ・旧ウェブサイトから新ウェブサイトへのページ移行やページデザインを一新するなど、システムを再構築しました。 ・令和6年3月1日に新ウェブサイトを公開しました。					
	R6	・令和6年3月1日に公開した新ウェブサイトの管理保守を行っています。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
意識調査で「欲しい市政情報が十分に手に入れない理由」に市公式ウェブサイトの不備（①②③）を挙げる市民の割合の低下		計画	—	—	—	30%	20%
		実績	—	—			
局 名		総務局		所管課	広報課		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)	—	

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-2

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

災害関連情報の伝達体制の強化

現状等

市民の皆さんが、災害時に安全・安心に避難するには、災害関連情報を速やかに取得することが必要です。災害関連情報の伝達については、（１）ウェブサイトや防災メール、SNSなどで発信しているが、市民からも情報を収集する仕組みや、一元的かつ総合的に発信することが求められている、（２）デジタル弱者を含めた全ての人に伝達できる環境整備が求められている、（３）同報無線が聞き取りにくい、といった課題があります。

取組概要
(前期計画)

災害時において、市民が災害関連情報を速やかに取得できるよう、デジタル化のメリットを活かした情報発信体制を整備します。
①一元的な発信のための取組みとして、静岡型「災害時総合情報サイト」の構築、市公式LINEなどでの災害関連情報の積極的な発信を行うほか、これらの周知活動も継続します。
②避難所で災害関連情報を伝達できる環境を整備する取組みとして、各避難所に大型モニターを設置し、最新の情報を表示します。
③同報無線を聞き取りやすくするため、令和4年度から令和8年度にかけて、同報無線をアナログ方式からデジタル方式に更新します。デジタル化により、アプリやメール、ウェブサイトへの情報伝達の即時性向上も図ります。

取組内容
(計画・実績)

年度

R5

R6

R7

R8

R9～12の取組

計画

△静岡型「災害時総合情報サイト」構築検討

◎避難所に災害関連情報発信用の大型モニターを配備

○同報無線の整備工事の実施（デジタル化一部供用開始）

○静岡型「災害時総合情報サイト」の構築
◎運用開始（R7.1～）

→機器維持管理の継続実施

→整備工事の継続実施

→サイトの改善、周知活動の継続実施

→機器維持管理の継続実施

◎同報無線の整備工事の実施（デジタル化完了）

→サイトの改善、周知活動の継続実施

→機器維持管理の継続実施

◎同報無線の整備工事の実施（既存設備撤去完了）

→サイトの改善、周知活動の継続実施

→機器維持管理の継続実施

→設備維持管理の継続実施

実績

◎「災害時総合情報サイト」基本計画策定完了

◎大型モニターの配備完了

○親局1、中継局4、再送信子局5の整備完了

◎災害時総合情報システムの開発完了
◎運用開始（R7.3～）

→機器維持管理の継続実施

→整備工事の継続実施

凡 例

△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止

進 捗

②

凡例

①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし

効 果

各種情報ツールと連携した静岡型「災害時総合情報サイト」と、避難所への災害関連情報配信用の大型モニター配備、同報無線のデジタル化への更新により、市民が、必要な時に多様なルートで災害関連情報を取得できるようになり、市民の安全・安心の確保につながります。

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-2

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

災害関連情報の伝達体制の強化

取組実績
(具体的な
取組内容)

R5

①静岡型「災害時総合情報サイト」の構築に向け、基本計画を策定しました。令和6年度からシステム開発に着手できるよう、開発に向けた予算の確保や国交付金の申請を実施しました。

②各避難所に大型モニターを設置し、12月の地域防災訓練において活用訓練を実施しました。

③同報無線をアナログ方式からデジタル方式に更新する工事において、親局1、中継局4、再送信子局5の整備を完了しました。

R6

①災害時総合情報システム（旧称：静岡型災害時総合情報サイト）として、行政の災害対応支援システム「内部災害情報システム」と市民向けの防災情報発信システム「静岡市防災ナビ」の構築が完了しました。

②各避難所に設置した大型モニターについて、防災訓練で活用訓練を実施しました。

③同報無線をアナログ方式からデジタル方式に更新する工事において、再送信子局2、子局221の整備を完了しました。

R7

R8

指 標

年度

R5

R6

R7

R8

大綱最終年度
(R12年度)
目標値①静岡市公式LINE登録者数
(R4年末:100,598人)

計画

①10万5千人
②年2回実施①11万人
②年2回実施①11万5千人
②年2回実施①12万人
②年2回実施①14万人
②年2回実施②避難所における情報発信の
運用訓練(9月総合防災訓
練・12月地域防災訓練)

実績

①110,945人
②年2回実施①120,958人
②年2回実施

局 名

危機管理局

所管課

危機管理課

第3次後期実施計画個票No.
(継続取組のみ)

—

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I－1－3－1

基本方針	I 人とつながる		
施策	I－1 効果的な情報発信の推進	参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目	SNSによる図書館情報の効果的な発信					
現状等	平成29年度に市立図書館独自のアカウントを開設して以来、X(旧Twitter)からも図書館情報を発信しています。アカウント開設当初は、X(旧Twitter)は新しい情報発信のツールであったため、発信の数を指標とし、図書館アカウントの周知を目指しています。 その結果、令和7年5月末現在のフォロワー数は3,238人となりました。					
取組概要 (前期計画)	X(旧Twitter)により、即時的かつ魅力的な情報発信の取組を引き続き行っていきます。投稿内容は、イベント情報のほかに、図書館司書のおすすめ本や図書館職員の仕事、図書館周辺の自然の話題など図書館から発信する情報に興味・関心を持ってもらえる内容を投稿していきます。また、イベントの講師等とのコラボなどX(旧Twitter)での企画を今まで以上に充実させ、市立図書館を効果的にPRしていきます。					
取組内容 (計画・実績)		R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
	計画	◎実施	→継続	→継続	→継続	継続実施
	実績	◎実施	→継続			
凡 例	△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止					
進 捗	②	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし			
効果	図書館利用者はもちろん、普段は図書館を利用しないがSNSは活用している人が関心を寄せやすい話題や情報をX(旧Twitter)で発信することで、多くの方に図書館並びに図書館から発信される情報に対して興味を持っていただき、市立図書館を効果的にPRできます。					

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-3-1
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		SNSによる図書館情報の効果的な発信					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	令和5年度はX(旧Twitter)による情報発信を663件実施しました。移動図書館の巡回予定やイベント等のお知らせの他、普段目に触れることがない図書館業務の紹介や周辺の動植物についての情報など、図書館への興味や来館に繋がるような投稿を行いました。また外部機関と連携したイベントについても、積極的に情報発信を行い、大河ドラマのパネル展示についての投稿は、いいね474件と大きな反響がありました。					
	R6	令和6年度はX(旧Twitter)による情報発信を657件実施しました。各図書館で行っている特集・展示のお知らせや、各種イベント等のお知らせ、図書館業務の紹介などを継続して実施しています。このほかに、X内での企画として、5月の「図書館振興の月」には、市立図書館全12館の館長のおすすめ資料の紹介を、6月の蔵書点検の時期には、普段見ることができない蔵書点検中の様子の投稿を行いました。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
フォロワー数年間120人増 ※令和4年度末で2,580人を見込む		計画	2,700人	2,820人	2,940人	3,060人	3,540人
		実績	2,990人	3,216人			
局 名		教育局		所管課	中央図書館		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)		I-3-1-2-7

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-3-2

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

SNSを活用した消防情報の発信

現状等

消防局では、新たな情報発信の機会として、平成29年12月にFacebookページを開設しました。現在のフォロワー数は、2400人を超えており、毎年増加傾向にあります。

「静岡市消防局 Facebook」では、消防訓練、各種イベント等の情報発信を通じて、住民の皆様の防火意識の高揚を図るとともに、消防行政への理解が深められるよう努めています。

取組概要
(前期計画)

Facebookページと合わせて、更なるツールとして広報ビデオを制作し、YouTube等に配信することで、投稿内容や情報発信力を強化し、閲覧される住民の皆様から【いいね】、【コメント】及び【シェア】などのアクションをしてくださる閲覧者の数を増やし、消防行政への更なる理解を深めていただくことに重点を置きます。また、Facebookページ作成にあたっては、消防のことをあまり知らない方に対しても、わかりやすい文章表現にすることで消防を理解していただき、様々な業務に関することを投稿することで、幅広い年齢の方に対して、身近で頼れる存在をアピールしていきます。

1、Facebookページは、①災害対策に関するもの（各種訓練、資機材の紹介）、②啓発に関するもの（救急車の適正利用、住宅用火災警報器の設置・維持管理）、③職員採用に関するもの（業務紹介、女性職員）を3つの柱とすると共に、各種イベント情報等についても積極的に情報発信します。

2、広報ビデオは、毎年度決める重点広報テーマに沿って、企画立案し制作します。制作した広報ビデオは、YouTube等に配信するだけでなく、各所属が主催する講習会や防災訓練等においても積極的に活用していきます。

取組内容
(計画・実績)

	R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
計画	- Facebook 投稿数130件 - 広報動画 制作1件	- Facebook 投稿数130件 - 広報動画 制作1件	- Facebook 投稿数90件 → 継続	→ 継続	継続 (新たな媒体併用)
実績	◎実施 - Facebook 投稿数132件 - 広報動画 制作1件	△Facebook 投稿数82件 ○広報動画 制作0件			

凡 例

△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止

進 捗

③

凡例

①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし

効果

より多くの住民の皆様は「静岡市消防局Facebook」と「YouTubeによる動画配信」を視聴していただくことで、防火意識の醸成を図り、消防行政への理解と関心が深まることを期待しています。

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-3-2
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		SNSを活用した消防情報の発信					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	Facebook投稿は、各所属へ投稿数を配分（各課、各係の投稿数を指定）したため、計画どおり行うことができました。広報動画については、消防局ホームページのリニューアルに合わせ、オープニング画面に女性職員採用に係る動画を掲載しました。					
	R6	消防局におけるFacebookの投稿は、花火教室や救助大会等の類似する内容の投稿が多かったため、昨年度から重複する内容についての精査を行い、フォロワーや新規閲覧者に興味や関心を得られる投稿に努めていきました。その結果、Facebookの投稿数は減少したものの、一定の閲覧者は確保されている状況ですので、投稿数の目標値を見直し、引き続き、掲載内容に重点を置いていきます。動画については、ドローンによる山林火災想定訓練の動画撮影を行いました。編集作業が整わず、YouTubeにアップは実現しませんでした。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
Facebook、YouTubeのアクション（いいね、コメント及びシェア）者数		計画	13,000人	14,000人	14,000人	14,000人	15,000人
		実績	14,859人	9,167人			
局 名		消防局		所管課	消防総務課		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)		I－3－1－2－5

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I - 1 - 4 - 1
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目	高校生等との協働による若年層への選挙啓発事業					
現状等	政治や選挙に関する意識の醸成、向上を図るため、選挙啓発ポスターコンクールの実施、成人式でのチラシ配布及び高校生の投票事務をモチーフに静岡市選挙啓発冊子を毎年度発行し、市内すべての高校に配布しています。					
取組概要 (前期計画)	・ 静岡市内に在住・在学・在勤の若者と連携し、効果的な選挙啓発の方策を検討し、検討結果を具体的な事業として選挙啓発を実施します。 ・ 有権者の関心を高める情報発信と主権者教育(社会参画)の充実に取り組んでいきます。					
取組内容 (計画・実績)	年度	R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
	計画	◎若者と協働した啓発	→継続	→継続	→継続	継続実施
	実績	◎若者と協働した啓発 △啓発内容の見直し	→継続 ○一部実施			
凡 例	△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止					
進 捗	②	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし			
効果	選挙・政治に対する意識や関心が向上するほか、選挙啓発において若年層に対する啓発効果が高まることが期待されます。					

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-4-1
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		高校生等との協働による若年層への選挙啓発事業					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	令和5年4月に執行された統一地方選挙の低投票率の結果を受け、静岡大学の政治学ゼミと協働し、静岡市の投票率の現状を見える化する「目で見える投票率」を作成しました。次に学識経験者、教育関係者、マスコミ、民間事業者をメンバーとする「どうする投票率研究会」を立ち上げ、静岡市の投票率向上について調査・研究を行い、大学生の意見も聴取しながら「静岡市投票率向上対策」を作成しました。その中で、啓発や情報発信等について従来のやり方を大きく見直し、大学生が作成した選挙啓発動画を静岡市二十歳の記念式典やポスターコンクール展示会で活用しました。					
	R6	令和7年3月執行の市議会議員選挙をターゲットに、若年層の政治参加を促進するため、①選挙サポーター制度登録者による啓発イベント参加等広報活動、②専門学校生との連携によるフォトスポットデザイン制作、③学生発案の「動物総選挙」イベント、④大学生年代に訴求する動画コンテスト開催、⑤高校生による同報無線での選挙のお知らせ放送、⑥大学生インターンによる選挙事務参加を行い、高校生から大学生年代の学生自身が啓発の「担い手」となり、同世代への関心の波及につなげることができました。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
高校・大学等との協働による 選挙啓発事業の実施数		計画	3回	3回	3回	3回	3回
		実績	3回	6回			
局 名		選挙管理委員会事務局		所管課	選挙管理委員会事務局		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)		I－1－2－2－6

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-4-2

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

低コスト林業推進に資するエリートツリーへの転換に向けた試験植栽の情報発信

現状等

林業経営を持続するための課題の一つに、新たな植林にかかる初期コストが高いことがあります。行政からも植林に対して補助金を投入しているものの、新たに植林を行う面積は減少傾向にあります。

その対策として、生育が早く下刈り等の初期コストの軽減が期待できるエリートツリーと呼ばれる苗木が注目されています。新植苗木のエリートツリーへの転換を進めるべく、市内においてエリートツリーの試験植栽を行っているところであり、試験植栽で得た情報を林業家等へ積極的に発信していくことが必要となります。

取組概要
(前期計画)

一般的なスギ・ヒノキの中から選ばれた成長の優れたエリートツリーの苗木を市内3地区（静岡地区・清水地区・井川地区）に試験植栽し、そこで得た情報を林業家等へ発信することで、林業家が新植苗木を従来の苗木からエリートツリーへと転換していくことを促進します。

取組内容
(計画・実績)

年度

R5

R6

R7

R8

R9～12の取組

計画

維持管理の実施

維持管理の実施

維持管理の実施

情報発信

実績

◎実施

→継続

凡 例

△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止

進 捗

②

凡例

①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし

効果

試験植栽で得た情報の発信により苗木の転換を促進することで、低コスト林業の推進と安定した木材供給体制が確立されます。

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-4-2

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

低コスト林業推進に資するエリートツリーへの転換に向けた試験植栽の情報発信

取組実績
(具体的な
取組内容)

R5

市内3地区（葵区門屋、葵区井川、清水区西里）の市有林での試験植栽地（各0.5ha）の維持管理（下刈り、防護柵の維持管理）及び生育の記録（樹高、胸高直径の測定）を実施しました。R5年度末の樹高は平均約70cmで、R4年度末頃の植栽時に45cm程度だった苗木が1年で約25cm成長しました。これは、国の森林整備センターでの植栽試験の成長データとほぼ同様の結果で、エリートツリーが市内においても順調に生育することが確認できました。

R6

市内3地区（葵区門屋、葵区井川、清水区西里）の市有林での試験植栽地（各0.5ha）の維持管理（下刈り、防護柵の維持管理）及び生育の記録（樹高、胸高直径の測定）を実施しました。シカ等による食害の被害を受けた井川地区を除くと、R6年度末時点で植栽木の平均樹高は約1.3mで、昨年度の計測時から約60cm成長しました。これは、国の森林整備センターでの植栽試験の成長データとほぼ同様の結果で、このまま順調に生育が続けば来年度以降下刈りが不要になることが想定されます。

R7

R8

指 標

年度

R5

R6

R7

R8

大綱最終年度
(R12年度)
目標値民有林における新植苗木のエ
リートツリーへの転換面積

計画

試験植栽期間

試験植栽期間

苗木転換面積
計0.5ha苗木転換面積
計1ha苗木転換面積
計3ha

実績

試験植栽期間

試験植栽期間

局 名

環境局

所管課

森林経営管理課

第3次後期実施計画個票No.
(継続取組のみ)

—

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.

I-1-4-3

基本方針

I 人とつながる

施策

I-1 効果的な情報発信の推進

参考：
方向性

3 積極的な情報発信

取組項目

応急手当普及啓発

現状等

①応急手当普及啓発は、ホームページに写真を掲載して文字で説明したり、救急フェアなど各種イベント開催時や、Facebookにて市民へ広報しています。

②救急講習受講者の振り返りや再確認の材料は、配布する紙テキストの資料で実施しています。

③救急講習の受講者数が一般市民向け及び学校教育共に伸び悩んでいます。

取組概要
(前期計画)

①応急手当普及啓発における広報活動として、SNSを活用してPR動画を配信することにより、救急講習への受講者の増加を図ります。

②ホームページへの掲載動画には、心肺蘇生法やAEDの取扱い動画を掲載することにより、知識、技術を幅広く普及させるとともに救急講習受講者の振り返りと再確認の材料として活用します。

③公立小中学校を対象とした学校教育に対して、救急講習を従前どおり継続するとともに、私立小中学校に対しても年少期から心肺蘇生法について講習を行っていきます。

④受講者に対し定期的再受講を促し、質の高い技術を持った人材育成を目指します。

取組内容
(計画・実績)

		R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
計画	企画・動画作成・配信	→継続	→継続	→継続		
実績	PR動画骨子作成済・配信準備調整	◎関係課と協力し 応急手当普及啓発PRを実施。				継続実施・見直し

凡 例

△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止

進 捗

②

凡例

①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし

効果

SNSにPR動画を掲載することで受講者を増加させ、更に救命率の向上を目指します。また、受講後でも簡単な振り返りや再確認のツールとして使用を図ります。

第4次行財政改革前期実施計画個票

No. I-1-4-3

基本方針	I 人とつながる		
施策	I-1 効果的な情報発信の推進	参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		応急手当普及啓発					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	SNSやホームページに動画配信する取組については、骨子案作成済み。素材映像を撮影するまでに至らなかったため計画より遅れてしまいました。 公立小中学校及び私立小中学校を対象とした学校教育については順調に実施することができました。 救命講習終了後に受講者に対し定期の再受講を促し、質の高い技術を持った人材育成をすることができました。 救命講習受講者については、目標を若干下回ったが、5月までの受講者がコロナ渦で減少したことが考えられます。					
	R6	PR動画配信については、広報課及び保健衛生医療課と協力し、応急手当普及啓発の動画を「トコちゃんねる」にてYouTubeへアップしました。 公立小中学校及び市立中学校を対象とした学校教育については順調に実施することができました。 救命講習終了後に受講者に対し定期の再受講を促し、質の高い技術を持った人材を育成することができました。 救命講習受講者については、平成30年の受講者数37,000人がピークで、その後、コロナ渦となり受講者数が減少しました。令和5、6年で受講者数は、3万人台に回復しましたが、静岡市の人口減少など社会情勢の変化により、受講者数が減少したと考えられます。 救命講習受講者を増やすため、各種媒体を活用し更なるPRを行っていきます。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
救命講習受講人数 (令和3年度：学校教育の実 施を含む人数 23,000人)		計画	39,000人	39,000人	39,000人	39,000人	39,000人
		実績	34,229人	32,053人			
局 名		消防局		所管課	救急課		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)		I－1－2－4

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-4-4
基本方針	I 人とつながる
施策	I-1 効果的な情報発信の推進
参考：方向性	3 積極的な情報発信

取組項目	環境保健研究所の機能強化の推進（情報発信力の強化）					
現状等	現在の環境保健研究所は、狭あい化及び老朽化が著しく、所内には講座等を行うことができる会議室はないことから、施設見学や体験学習により市民が研究所を訪れる機会を設けることが困難な状況です。令和7年度供用開始予定の新環境保健研究所では、「市民に開かれた研究所」を目指し、環境保健研究所が市民生活を支えている施設であるとの理解が進むように、情報発信力を強化していくことが必要です。					
取組概要 (前期計画)	①新環境保健研究所において、検査風景を見学できる見学窓の設置（微生物検査、理化学検査）、施設の見学会等を実施し、研究所の業務内容をPRします。 ②新環境保健研究所の施設において、研究所の測定機器や試薬を使用した公開講座及び体験学習を実施します。 ③市内高等学校等を対象とした学習支援を実施します。					
取組内容 (計画・実績)	年度	R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
	計画	△業務内容PRの検討 △公開講座・体験学習会の検討 ○支援内容の協議	△業務内容PRの検討 △公開講座・体験学習会の検討 ◎学習支援の実施	◎業務内容PRの実施 ◎公開講座・体験学習会の実施 →継続	→継続 →継続 →継続	継続実施
	実績	△業務内容PRの検討 △公開講座の実施・体験学習会の検討 ◎学習支援の実施	◎業務内容PRの実施 △公開講座・体験学習会の検討 →学習支援の実施			
凡 例	△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止					
進 捗	②	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし			
効果	環境保健研究所の認知度を高めるとともに、科学に関する学びの拠点として教育・交流事業を推進することで、より科学に対する関心を高め、次世代を担う未来の技術者を育成します。					

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-4-4
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		環境保健研究所の機能強化の推進（情報発信力の強化）					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	①令和6年12月予定の新研究所竣工後、令和7年3月に地元自治会を対象とした施設見学会の実施を計画しました。 ②新研究所で開催予定の公開講座・体験学習会について、開催時期及び実施内容を検討しました。 なお、令和6年3月に静岡市薬剤師会館にて開催した公開講座について、参加者21人（職員17人、一般3人、学生1人）のうち、回答を得た20人の発表内容に対する理解度及び満足度はともに100%でした。 ③静岡市立高校の指導教諭へ当研究所で検査可能な項目を情報提供しました。当該高校の学生3名と面談を実施し、研究課題について意見交換を行い、高校生が自ら考え行動出来るよう継続的にサポートしました。また、同校主催のSSH研究成果発表会に職員3名が参加し、高校生との質疑応答や意見交換をとおして高校生の科学的知識・考察力の向上に寄与しました。					
	R6	①令和7年3月に地元自治会及び学生を対象とした施設見学会を実施しました。参加者44人のうち、回答を得た42人の環境保健研究所の業務内容に対する理解度は76%でした。 ②新研究所で開催予定の公開講座・体験学習会について、開催時期及び実施内容を検討した結果、夏季に親子実験教室、冬季に公開講座を実施することとしました。 ③常葉大学社会環境学部の「環境の科学」講義に講師として参加し、当所で実施している検査等について説明しました。また、静岡市立高校のSSH研究成果発表会に参加し、高校生との質疑応答や意見交換をとおして高校生の科学的知識・考察力の向上に寄与しました。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
①公開講座・体験学習等の人数 ②研究所への関心が高まった人の割合	計画	① ー ② ー	① 10人 ② 70%	① 30人 ② 80%	① 40人 ② 90%	① 50人 ② 100%	
	実績	① ー ② ー	① 44人 ② 76%				
局 名		環境局		所管課	環境保健研究所		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)	—	

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-5
基本方針	I 人とつながる
施策	I-1 効果的な情報発信の推進
参考：方向性	3 積極的な情報発信

取組項目	しずチカを活用したシティプロモーションの推進					
現状等	JR静岡駅北口地下には、市の取組をパネル展示などで紹介する「しずチカ市政情報発信コーナー」、お茶のまち静岡市PR事業を実施する「しずチカ茶店一茶」、まちかどコンサートなどイベントを実施する「イベントスペース」、市の情報を発信する「大型看板」が設置されています。 これらは、現在それぞれが、それぞれの役割に応じて活用されていますが、来静の要衝であり、静岡中心市街地において最も通行量の多いエリアに位置していることから、一体的に活用し、より効果的な情報発信を可能とするためのリニューアルを目指し、令和2年度及び3年度に社会実験を実施、そこから導き出されるリニューアルの方向性とその実現に必要な改修計画を策定、運営・活用方針を検討しています。 年間来場者数：令和2～4年度（見込み）平均約114,000人					
取組概要 （前期計画）	令和5年度に地下空間を一体的に活用するための改修工事を実施し、令和6年度から新しずチカ空間として稼働します。 ＜リニューアルの方向性＞ 市内一等地で、市民及び市外からの来訪者に向けて効果的な情報発信を行うことができる情報発信拠点 （１）「お茶のまち静岡市」の情報発信拠点 お茶の魅力を体験できるお茶カフェを常設し、お茶の楽しみ方の提案・需要の拡大を図る （２）市民に向けた効果的な市政情報発信拠点 テーマに沿ったイベントの実施やお茶・お茶のおともを提供する「企画カフェ」の開設により、市が伝えたい情報を広く市民に発信する （３）街中の賑わいの創出につながるまち歩きの情報発信拠点 街中のイベント情報の発信や、観光案内所との連携によるまち歩き情報の案内により街中への周遊を促す （４）事業発展に繋がる事業者の情報発信拠点 商品の紹介や新商品のテスト販売などによる、各業界の底上げ支援を図る 令和5年度 改修工事実施、運営計画策定、リニューアル 令和6年度～ 新しずチカ空間運営、運営による効果検証及び見直し 令和9年度～ リニューアルの検証、運営による効果検証及び見直し					
取組内容 （計画・実績）	年度	R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
	計画	◎改修工事 ◎運営計画策定 ◎リニューアル	◎運営 ◎運営による効果検証・見直し ◎運営計画策定	◎改修工事 ◎リニューアル	→ →	リニューアル・運営による効果検証及び見直し
	実績	○改修工事 ●運営計画策定 ○リニューアル	◎運営 ●運営による効果検証・見直し ●運営計画策定			
凡 例	△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止					
進 捗	③	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし			
効果	市民及び来訪者が「伝わる情報発信」により静岡市の情報（魅力）を受け取り、市の認知度・魅力度の向上に繋がります。 静岡市内周遊の起点として回遊・消費活動を促進します。 サイネージ広告収入や、カフェ収入、スペースの賃借料により、運営費の捻出及び収益があがります。					

第4次行財政改革前期実施計画個票			No.	I-1-5
基本方針	I 人とつながる			
施策	I-1 効果的な情報発信の推進	参考： 方向性	3 積極的な情報発信	

取組項目		しずチカを活用したシティプロモーションの推進					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	当初しずチカ空間の全面リニューアルを予定していたが、静岡市の玄関口として都市デザイン指針を作成した上でリニューアルすることとしました。このため、施設の内外を一体的に活用し、情報発信できるよう、一部改修工事（施設の扉を全面開閉できるアコーディオン戸への変更、施設内部の仕切り戸の撤去のみ）を行い、令和6年3月一部リニューアルオープンしました。					
	R6	令和5年度の一部改修工事により、施設内外を一体的に活用できるようになったことから、年間を通じて企画カフェ（時季ごとにテーマを設定しテーマに沿ったイベントの開催等）を実施しました。また、しずチカ空間の全面リニューアルについては、リニューアルに向けた工事の詳細設計や管理・運営手法等を検討の上、令和7年度以降、大規模改修を行いリニューアルすることとしました。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
しずチカ年間来場者数		計画	52,250人	136,800人	182,400人	228,000人	273,600人
		実績	186,020人	514,464人			
局 名		観光交流文化局		所管課	観光政策課		
					第3次後期実施計画個票No. (継続取組のみ)		—

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-6
基本方針	I 人とつながる
施策	I-1 効果的な情報発信の推進
参考：方向性	3 積極的な情報発信

取組項目	首都圏でのシティプロモーションの推進					
現状等	本市にゆかりのある人が一堂に会する「静岡市交流会」の開催をはじめ、コミュニティスペース「WeWork」を活用したプロモーションの実施など、本市の認知度向上に資する取組を行っています。これらの取組を通して、本市の魅力発信のサポーターである「静岡市の『いいねえ。』届け隊」の会員拡充に努めています。 ※「静岡市の『いいねえ。』届け隊」とは、首都圏等において、静岡市のことを盛り上げてくれる“静岡市のファン”の集まり。（平成27年度創設） ※令和6年度末現在加入者数（個人及び店舗）：584件					
取組概要 （前期計画）	静岡市ファンの拡大、深化に向け、庁内各課、市内民間事業者等と連携し、時宜に合った本市の魅力を上げるなど、これまで以上に訴求力の高いプロモーションを実施します。また、会員活動の活性化に向け、会員同士の交流の機会を創出します。					
取組内容 （計画・実績）	年度	R5	R6	R7	R8	R9～12の取組
	計画	◎首都圏等でのイベント実施 ◎「静岡市の『いいねえ。』届け隊」の運営	→	→	→	継続実施
	実績	◎実施 ◎実施	→継続 →継続			
凡 例	△調査・検討、○一部実施、◎実施、→継続、●実績なし、×中止					
進 捗	②	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし			
効果	イベントの実施や「静岡市の『いいねえ。』届け隊」会員自らの情報発信により、静岡市の認知度を高め、新たな静岡市ファンの獲得、さらには交流人口及び関係人口の拡大につなげることができます。また、会員同士の活発な交流により、主体的な活動意欲を持つ会員が増加し、持続可能な組織運営につながります。					

第4次行財政改革前期実施計画個票

No.	I-1-6
参考： 方向性	3 積極的な情報発信

取組項目		首都圏でのシティプロモーションの推進					
取組実績 (具体的な 取組内容)	R5	「静岡市交流会」を4年ぶりに開催し、首都圏における静岡市関係者とのネットワークの強化等に取り組みました。また、地方創生包括連携協定を締結する「コジマ」の首都圏店舗や「WeWork」において、市産品を活用したプロモーションを開催し、本市への興味・関心を引き起こし、本市にゆかりのある方や本市を応援するいわゆる「静岡市ファン」のすそ野を広げ、人的ネットワークの創出を図りました。					
	R6	「静岡市交流会」を開催し、首都圏における静岡市関係者とのネットワークの強化等に取り組みました。JR横浜駅や東京交通会館、「WeWork」において、市産品を活用したプロモーションを開催し、本市への興味・関心を引き起こし、本市にゆかりのある方や本市を応援するいわゆる「静岡市ファン」のすそ野を広げ、人的ネットワークの創出を図りました。					
	R7						
	R8						
指 標		年度	R5	R6	R7	R8	大綱最終年度 (R12年度) 目標値
「静岡市の『いいねえ。』届け隊」への新規加入者数（個人及び店舗）		計画	54件	54件	65件	65件	「静岡市の『いいねえ。』届け隊」加入者数（個人及び店舗） 1,000件
		実績	54件	100件 （累計584人）			
局 名		総務局		所管課	東京事務所		
					第3次後期実施計画個票No. （継続取組のみ）	I－3－1－2、3	